



2か月が過ぎようとする今、改めて…



「まずは 与えられた仕事を 全力で取り組み」
これは近代日本経済の父と称されている渋沢栄一という言葉です。ここには、次のような意味が込められているそうです。「尊い仕事は至る所にあるのだ。任されたことに対して一生懸命に取り組まない人は……成功したりすることはできない。一生懸命、目の前のことに取り組む姿勢が大事なのだ。」
始業式からスタートした児童との学校生活がまもなく2か月になります。西校の児童は、教職員の話をよく聴き、前向きに取り組むよさがあります。このような児童の姿を見ると、やりがいを感じるとともに、児童のため、学校のためにできることは何かと考える気持ちが湧いてきます。教職員と知恵を絞りながら、そして時には、保護者や地域の皆様の意見も拝聴しながら児童の成長のために力を注ぎたいと思います。

万が一の場合に備えた訓練：5月7日（水）

＜避難訓練：5校時＞
今回は、地震が発生した後に給食室から出火したという想定で校庭に避難する訓練でした。普段過ごす教室も変わったことから、避難経路を確認することが実施のねらいの一つです。当然、静かに放送を聞くことや私語を謹んで速やかに行動することも指導のポイントです。
今回見えた課題の一つとして、避難時に口を覆うハンカチを身に付けていない児童が見られたことです。手や汗を拭くことはもちろんですが、いざというときは命を助ける役割があることも事後指導で児童に伝えました。日頃からご家庭でも登校前に身に付けるようお声掛けいただけるとありがたく思います。



＜引渡し訓練＞
地震や事件等の発生により児童を学校に留め置いた場合を想定し、保護者に引き渡すまでの流れを確認する訓練です。左記の避難訓練後に実施しました。
校庭の指定された場所で児童及び担当教員が待機し、各家庭の預かり者の来校を待ちました。学校としては必要事項を確認しながら一人一人の児童を確実に引渡す方法を再確認することができました。お忙しい時間帯にも関わらずご協力くださいました皆様には感謝いたします。



【参考：★児童引渡しのケース★】

- ・ **震度5強以上（必須）**
- ・ 異常気象、広範な火災、事件、不審者徘徊などにより下校時の安全確保が危惧される場合
- ・ インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の急拡大や蔓延のおそれがある場合

いじめ根絶の取組



宇都宮市教育委員会は、いじめの未然防止策の一つとして年2回「いじめゼロ強調月間」（5月・10月）を設けています。
本校でも「いじめは絶対許さない」という共通認識のもと、約1か月に渡って主に右のような取組を行っています。併せて思いやりや感謝の心をもって他者と協力しようとする態度の育成にも留意して指導に当たりました。具体的な内容は、各種便りやホームページでも紹介していきますので、ご参照ください。

本校いじめゼロ標語の掲示

いじめゼロシールの配付

学級のいじめゼロスローガン作り

学校生活アンケートの実施と必要に応じた教育相談

意図した道徳授業の実施

ふわふわ言葉の学級掲示

市教委ポスター

ふわふわ言葉…4学年の例



近年、教職員の長時間勤務の常態化が社会的に大きな問題となる中、本校におきましても、教職員の業務の適正化を図り、教職員一人一人が心身ともに健康で、やりがいと情熱をもって職務に従事できる環境を整備することが重要な課題となっております。

そこで、教職員の業務改善の一助として、勤務時間外の電話対応等につきましては令和3年度より下記の時間帯で自動音声応答に切り替えさせていただいております。保護者や地域の皆様におかれましては、上記の趣旨をご理解の上、円滑な学校運営にご協力くださいますようお願い申し上げます。

☆常勤職員の勤務時間：8時10分～16時40分〔当番勤務：7時30～17時00分〕☆



1 自動音声応答による応答時間（原則）

- (1) 平日は、午後6時00分から翌日午前7時30分まで
- (2) 学校の休業日（土日・祝日、年末年始、運動会など学校行事の振替日など）は終日
- (3) 長期休業期間（夏休み等）は、業務時間を除く時間帯（午後4時40分から翌日午前8時10分）
- (4) その他、学校の都合により平日も午後6時以前に自動音声に切り替える場合があります。

※【緊急事案発生時の連絡】※

- ・ 児童の生命や安全に関わる事案が起きた場合は、警察（110番）、消防（119番）に通報ください。
- ・ 登下校中に交通事故に遭って救急搬送された、帰宅予定時刻になっても帰宅せず行方不明であるなどの事案は、宇都宮市教育委員会の連絡先電話632-5115にもご連絡ください。事案に応じて市教委から本校教職員に情報が伝達されます。

2 校舎玄関のインターフォンの対応時間

- (1) 平日は原則午後5時00分まで 長期休業日は午後4時00分まで
- (2) 土日・祝日及び年末年始等を含む学校業務休止日はご遠慮ください。

3 リフレッシュデーの推進について

本校教職員は月1、2回程度のリフレッシュデー（定時退勤）を推進しています。皆様からのご連絡によっては担任や担当者が即時対応できないことも想定されます。その場合は、他の教職員が対応する場合や翌日以降にお答えすることもありますのでご了承ください。

地域の力を活用した学校経営

学校経営方針に「地域とともにある学校づくり—開かれた学校—」を掲げています。例年、多くのボランティアや講師の方にご支援・ご協力いただきながら学校行事や各学年の教育活動等を展開しています。

<5/9 サツマイモ苗植え1学年>

15名がボランティアリーダーと地域及び保護者のボランティアの指導を受けながらサツマイモの苗を教材園に植えました。学校業務機動班が事前に作っておいた畝に一定の間隔をとって丁寧に植えました。無事に収穫できれば、給食でも活用しよう考えています。



<5/9 出前授業4学年>

株式会社 SUBARU 航空宇宙カンパニーから2名の講師をお招きし、地球温暖化の概要を知って、自分ができるところを考えた授業を行いました。

具体的な実験も行われ、温暖化の仕組みを理解することができました。学んだことをこれからどう生かすかが大切です。



<5/14 通学路点検>

一斉下校の時間を活用して、日頃から児童の登下校を見守ってくださるスクールガードリーダーをはじめ、中央警察署員、地域協議会代表の方に来校いただき、顔合わせ会を行いました。併せて、教員も共に下校の様子を見守りながら危険箇所の点検を行いました。



さすが、西校児童！

過日、三条町自治会のある方が校長室を訪れ、次のような話をしてくださいました。

去る5月11日に二条町中部および三条町南部自治会が「季節のお花を楽しむ会」を開催し、そこに本校女子児童3名が案内役のボランティアを担いました。その際、3名は体が不自由な参加者に温かい言葉をかけながら進んで手を差し伸べていたそうです。きれいな花以上にその美しい気持ちと行動に感動したそうです。

その話を聞いた校長も大変うれしい気持ちになりました。これからもこうした素直で優しい児童を保護者や地域の皆様と共に育てていきたいと改めて思った次第です。